

進め！防災女子 子ども・妊産婦の生活必需品の巻

乳幼児や妊産婦のいる家庭では、災害時に必要な生活必需品が異なります。特に薬など特殊な物は手に入りにくいので、備えておけば安心です。心の準備や情報収集も大切です。家族や親戚、近隣の人達と災害時の行動について話しあっておきましょう。

非常時の必需品のポイント

- ・定期的にチェック：季節や子どもの成長にあわせ、着替えやオムツのサイズを確認
- ・家族それぞれの必需品を用意：処方されている薬やアレルギー対応食など
- ・保管場所：家の中では2階や玄関近く、車の中などに分散させてリスクを回避

- ◆女性が運べる荷物の重さの目安は10kg、妊婦さんは5kgです。
小さな子どもがいる場合は、荷物を持って子どもと避難できるか、確かめておきましょう。
- ◆幼児には衣類・お菓子など軽い物と連絡先カードを入れたリュックを準備する。
- ◆健康保険証や母子健康手帳などは、すぐに持ち出せるようにまとめて保管しておく。
- ◆おもちゃ・絵本は、音の出ないものが無難。
- ◆大判スカーフは、授乳時や保温のときに使用できる。

- ◆断水に備えて肌着は多めに準備する。

注意：風呂の残り湯を断水時の生活用水としてためておく場合には、必ず溺水事故防止のための措置をとりましょう。



(出典：日本子ども家庭総合研究所「乳幼児と保護者、妊産婦のための防災ハンドブック」)



神戸町 消防団だより

今月は第4分団の紹介です



▲分団長
船坂 仁志

私たち第4分団は、限られた訓練日数・時間の中で、機械器具の使用方法の習得や実火災を想定した訓練を取り入れ、安全、正確かつ迅速に消火活動が行えるよう、日々訓練に励んでいます。そして消防団退団後も、有事の際には自ら現場に駆け付け、消火活動に協力できる人材を育成したいと考えています。

所属する団員は、家庭や仕事がある中で、時間を調整して訓練に参加しています。一年間の消防団活動では、時には苦しいこともありますが、同じ目標に向かって訓練を重ねることで、同世代の仲間との絆が生まれ、消防団で活動できることへの喜びも感じられることと思います。第4分団では、一人でも多くの団員にこのような思いを持ってもらえるよう、日々活動していきます。地域の皆様には今後ともご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。



▲水利点検の様子